

ぼうさい通信 Vo.65



令和5年4月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ「熊本地震を振り返る」

熊本地震は、観測史上初めて同一地域で28時間のうちに2度の震度7を記録した地震であり、「本震」に対して「前震」という言葉が社会的に認知された地震でもありました。また、余震の数も特徴的で震度1以上の揺れを半年間で約4,000回も記録しています。※■定義の変更

私は、2度目に発生した16日は南阿蘇の自宅で就寝中でした。1時25分。突然響き渡る不気味な地鳴りと同時に、縦と横の大きな揺れで目が覚めましたが、何もできなかったことを覚えています。揺れがおさまってすぐ妻と愛犬、また緊急避難用具を揃え車で自宅前の公園に移動しました。当然、余震が続き休めるはずもなく朝を迎えた時に、自宅や周辺の景観が変わっていたことに驚きました。近所の方の安否をお互いに確認し、避難所である南阿蘇中学校に向かいました。

その後の情報で不幸にもお亡くなりになった方や落石で道路がどこも通行できないことを知りました。また、阿蘇大橋が落ちたという噂が広まり事実確認のために消防団の方と橋まで行きましたが、残念なことにそれは本当のことでした。皆さん立ちすくみ涙を流し、放心状態でした。ライフラインがほぼ機能せず夕方まで食事はとれず、ようやく役場の炊き出しで一人におにぎり一個が配給されました。手の平に乗せてもらったその温かさは、おにぎりよりも関係者の心のぬくもりのように思いました。

それから数週間ほど避難所(中学校)で過ごしましたが、その間見て感じたことは、次のとおりです。

- 避難所に居た高校生から小学生までの生徒から、自然派生的に配給・配達・掃除などのボランティア活動が広まったこと。
- 役場を中心とした行政や自衛隊の働きとライフラインの重要性。
- 災害に対する備えと非常時の心構え、動線等の確保。
- 高齢者及び社会的弱者に対する安心・安全の確保。

中でも、プライバシーの確保もままならない避難所において、生き生きと活動する高校生を中心とするボランティアの子どもたちの笑顔は、心と身体を傷めた方々には何よりも救いの対象でした。ともすれば先の不安からストレスを抱えがちな避難所生活にほっとする潤いが溢れました。

湧心館高校においても、熊本地震の経験をいかし、啓発活動として「ぼうさい通信」を毎月発刊しています。皆さん、防災や発災時の対応は確実にできていますか。まだ自信がないという人は、以下に記載がありますので、過去の「ぼうさい通信」も確認しながら自分自身の防災意識を高め、今後にいかしていただければと思います。

■前震（現在は、前震・本震・余震の定義をなくし、すべての揺れを“地震”の表現へ変更）

- ① 4月14日21時26分、一連の地震で最初の地震が発生し益城町で震度7（計測震度6.6）を観測しています。熊本県の嘉島町では、地震直後に震度情報が未入電となり、震度5弱以上と推定されていました。中部地方の一部から九州地方にかけての範囲で震度1から震度4を観測していました。

② 4月15日0時3分に熊本県熊本地方を震央とする最大震度6強の地震が発生しています。気象庁が発表したこの地震の震央は、最初の地震の震央より南西に約5.5kmずれています。

※この一連の地震は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ、この地方で一般的な「右横ずれ断層」型であり、北北東-南南西方向に伸びる震源断層を持つと推定されています。政府の地震調査委員会は、日奈久断層帯（約81km）の北端部に当たる高野-白旗区間（約16km）の活動によるものとの見解を発表し、地震前、同区間で将来M6.8程度の地震が発生すると推定し、発生確率は不明としています。

■ 4月16日地震（本震・・・前震同様、現在、すべての揺れを“地震”の表現へ変更）

1時25分に最大震度7の地震が発生し、気象庁発表の地震の震央は、4月14日に発生した地震より西北西に約4.5kmずれています。この地震の最大震度は当初、震度6強とされていましたが、気象庁に送信されていなかった熊本県益城町と熊本県西原村の震度計のデータを同庁の現地調査で解析した結果、震度7を観測していたことが判明し、4月20日に訂正されました。4月14日21時以降、2018年（平成30年）4月13日までに一連の地震で震度1以上の観測地震（有感地震）は4,481回発生しており、うち最大震度4以上は145回発生しています。最初の地震から1年間の有感地震は4,297回で、内陸または沿岸で発生した地殻内地震としては、震度計による観測が始まった1996年4月以降で最多となっています。なお、気象庁は、複数の地震を一つの地震としてカウントしていた地震について精査を行い10月11日に発表した。精査の結果、最大震度1以上の地震回数が確定し、最大震度5強の地震が1回（15日0時6分）、5弱の地震が3回（14日23時43分、16日3時9分、16日9時50分）に増えるなど、修正が加えられました。



地震後の宇土市役所



地震後の熊本城



地震によりずれた断層

■ 被害・影響

死傷者等		地域別死者(直接死)	
死者(合計) :	273 人	地域	人数
直接死 :	50 人	益城町	20
関連死 :	218 人	南阿蘇村	16
豪雨被害関連死*1	0.9 人	西原村	5
行方不明者 :	00 人	熊本市	4
負傷者 :	2,809 人	嘉島町	3
避難者数 :	183,936 人*2	御船町	1
被害総額 :	最大 9.2 兆円*3	八代市	1
2019年4月12日現在		合計	50
		2016年8月15日現在	

*1 6月19日から6月25日の豪雨被害で熊本地震との関連が認められた死者

*2 熊本県の最大時、4月17日9時

*3 #推計被害額

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)

本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版 マイタイムライン)は、

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。